

# SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

## 縮むものと膨らむもの (見方を変えれば)

今から十数年前、記憶を辿ると1994年頃だったでしょうか、当時私が勤めていた銀行で「キャッチコピー」の募集が行われました。募集目的は忘れましたが、多分バブル崩壊で傷ついた銀行のイメージを高め行員のモラルアップを図るためのものだったのではないかと思います。全ての行員を対象にキャッチコピー1篇の提出が求められました。当然、私も出しました。残念ながら、自分がどんなフレーズを出したか全く思い出せませんが、選ばれたのは「きっと、もっと、ずっと」というものでした。選定結果が通知された時、そしてその選ばれたキャッチコピーを口にした時、「なかなかいいね」と感じたことを今でも思い出します。

こんな素晴らしいフレーズを作る人が銀行にいたなんて驚きでしたが、後で銀行に入って2、3年の若い女子行員が作者だと知らされました。「なるほど、そうだろうな」等と思いながら、そのキャッチコピーが色々な広告媒体に使われ始め銀行のイメージを表す言葉のようになっていく様子を眺めながら、私はその翌年退職しました。その後このキャッチコピーが銀行内でどのように扱われどのような命脈を辿ったのか知る由もありませんが、現在何処にも痕跡がないところからするとある時期から使われなくなったようです。まあ云ってみれば、そんな洗練された言葉は似合わなかったということでしょうか。

<きっと>という言葉は次代への希望や期待に繋がります。<もっと>という言葉は成長や拡大を伺わせません。そして<ずっと>という言葉は永続性を紡ぎだします。そんな言葉の連鎖が生み出すイメージに銀行自身が耐えられなくなったのかもしれない。

しかし、それは何も銀行に限ったことではありません。「きっと、もっと、ずっと」が似合わなくなったのは日本経済全体そのものように見えます。9月28日に国税庁から発表された「平成21年分民間給与実態統計調査結果について」は、「きっと、もっと、ずっと」が最早遥か向うに遠のいたことを知らせるような内容でした。調査結果を私なりに要約すると、民間1人当りの平均給与は4,059千円(内賞与561千円)と平成9年

比金額で614千円、率で15%弱の減少となっている、源泉徴収税額に至っては同じ年度間で11.4兆円から7.1兆円へと38%の激減となっている、そうした中、平均給与が高い上位3業種は、上から「電気・ガス・熱供給・水道業」「金融・保険業」「情報通信業」となっており依然として規制業種が強い力を保ち、下位3業種(サービス業、農林水産業、宿泊・飲食業)の倍以上となっている(給与所得者全体の数は45百万人台と変わっていない)、となります。

又、10月1日の日経新聞によれば、日本の株価(日経平均)は本年4~9月で16%も下落し世界の中で突出した下落幅となったとのこと。これも日本衰退の証でしょうか。皆さんはこうした事実をどう考えるでしょうか。

しかし、一方で見方を変えれば違う世界も見えてきます。日本の国内総生産(GDP)を、実質、名目、そして購買力平価という3つの視点で表すと下表のようになります。

	実質	名目	購買力平価
1990年	445	438	2,315
2000年	503	502	3,213
2010年	535	475	4,267

(単位:実質・名目は兆円、購買力は10億US\$)

この20年間で、名目では僅か8%増ですが実質では20%の増加となっており、更に購買力平価では何と84%もの増加となっているのです。何か実感からすると嘘のような数字と思われるかもしれませんが、どうも計算上そうなるようです。日本の円は、国外では驚くべき価値を発揮しているのです。それが国内では実感できない所に根深い問題があるのでしょうか。

この20年間、日本では物価が殆ど上がっていません(約3%)。それに対し、米国では60%以上上昇しています。物価の上昇は通貨価値の減少です。だから今の円高は購買力平価からみると当然の帰結であるという見方があるわけです。信じられないかもしれませんが、それがドルから見た現実です。

資本主義経済は人類が生み出した非常に優れた経済システムですが、その最大の欠点は常に成長が求められる所にあります。「きっと、もっと、ずっと」がそのシステム内に組み込まれているように見えます。今、人類はそれを超えたところを目指す時期を迎えているのかもしれない。なんだかよく解りませんが、そんな気がします。

発信日: 2010.10.2 第619号

《複製・転載等にご連絡下さい》

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

URL: [http://www.hi-ho.ne.jp/smc\\_toyo/](http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/)

Email: [smc\\_toyo@hi-ho.ne.jp](mailto:smc_toyo@hi-ho.ne.jp)